

2020年度第3四半期決算発表からみる 新型コロナウイルス(COVID-19)の影響

ブラジル日本商工会議所
コンサルタント部会
吉田幸司

2020年11月18日

目次

- Petrobras
- Vale
- Azul
- Gol
- Embraer
- CVC
- Eztec
- Tenda
- Iguatemi
- Multiplan
- Ambev
- Magazine Luiza
- Pão de Açúcar
- Carrefour
- Renner
- Centauro
- Burger King
- Raia Drogasil
- Locaweb

【ご注意】

ここに記載されている情報は作成時点で各社のHP等で公表されている一般的な英語の情報を元に日本語で取りまとめたものとなります。出来る限り正確に取りまとめるように心がけていますが、開示されている情報によっては異なる数値等が公表されている場合や解釈によっては違うように捉えられる場合もあり、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は皆様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても資料作成者は責任を負うことが出来ませんのでご了承下さい。

Petrobras (資源) (単位: 百万レアル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	70,730	77,051	197,097	220,474	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 3Q/19比販売量は18%増するもブレントオイル価格下落 (61.94ドル→43ドル)で売上高は減少 (2Q/20比ではブレントオイル価格が48%増となり、2Q/20比での売上高は39%増) ➢ 3Q/19比、ディーゼル及びジェット燃料の売上下落 (ディーゼル: R\$23,930M→R\$19,593M、ジェット燃料 R\$3,684M→R\$1,004M)するも2Q/20比は大幅回復。ディーゼルはブラジルの収穫期で2Q/20比大幅回復 ➢ 3Q/19比で販売量は増えるものの購入製品/原油が大幅に減少し、売上原価は減少 (3Q/19: 47,045→36,961)。なお、E&P事業の1バレル当たり採油コスト(生産税除く: 6.09ドル)は生産効率化、鉱区売却等で引続き低下し、石油精製事業はブレントオイル価格上昇等で3Q/20は黒字化 (計画外停止なし) ➢ RJ及びES州の税金恩赦プログラムが承認されたことでR\$19億の支払い、また、Peroba鉱区のサインボーナス R\$8億の償却等の費用計上があるものの3Q/19比では、SGA減少 (R\$16,149M→R\$14,820M) ➢ ただし、2Q/20から引き続きレアル安による為替差損 (ヘッジ会計含む) R\$137億(428億ドルのエクスポージャーがあり、2.9%の下落でも多額の損失発生)、また、社債の買戻しでプレミアム費用R\$28億等を計上し最終損益はマイナスに ➢ 経営改善、運転資金の改善等により営業CFは大幅プラス。当該資金等を元に債務の支払いを実施 (3Q/20で合計R\$666億の返済)
営業損益	18,949	13,857	△14,943	66,155	
親会社帰属純損益	△1,546	9,087	△52,782	31,984	
営業CF (Continue)	46,103	32,558	110,404	69,849	
Source: Petrobras Earning Releases (R\$) 3Q20					

Vale (資源) (単位: 百万ドル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	10,762	10,217	25,249	27,606	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 3Q/20の調整後EBITDAは、62億ドルとなり、4Q/13以降最高額となった ➢ 鉄鉱石 (含有量62%)の平均価格が3Q/20平均でUS\$118.2/dmt(3Q/19はUSD102/dmt)となり、売上高も増加 (販売数量は減少)。この価格上昇は2Q/20に引き続き中国市場での需要が盛んなことによる。(特に製造及び建設)。なお、販売量は減少。(販売量減少で売上原価も減少) ➢ 2020年8月には、Serra Sul 120プロジェクトを承認し、2024年度までに合計15億ドルの投資を行う予定。 ➢ 3Q/20のCAPEXは9億ドルであり、COVID-19のリスクを抑えるべく生産現場の安全と労働力確保のためのNon-essentialへの投資を抑制 ➢ Brumadinho尾鉱ダム決壊事故(2019/1/25)に関し、3Q/20では、3億ドルの支払を実施。なお、COVID-19パンデミックでストップしていた11人の行方不明者の捜索を再開し、また、2Q/20 Performance Report公表以降600人と賠償について合意 (合計で約8,200人以上) その他、水の供給、社会的基礎インフラ提供などの賠償行為を継続。 ➢ 2020年10月、住友金属鉱山と共にPIヴァーレイドネシアの株式20%をInalumへ売却を完了し、2025年以降も操業を継続するための条件の1つをクリア。(ニッケル事業) ➢ 3Q/20に株主への還元を再開し、2019年12月に発表した利子配当及び2020年上期の業績に応じて、33億ドルの支払を実施
営業損益	5,001	3,617	9,048	3,734	
親会社帰属純損益	2,908	1,654	4,142	△121	
営業CF	4,784	4,080	7,805	9,235	
Source: VALE'S PERFORMANCE IN 3Q20					

Azul (航空) (単位: 百万リアル)

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	402	805	3,031	4,010	8,190	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ブラジル国内線の回復は早く、国内線輸送能力は9月は前年同月比49%まで回復し、12月は80%以上に達する見込 ➤ Cargo売上は前年同月比で40%増(主にe-commerce分野での成長)。なお、4機の旅客機を貨物専用機へと転換し、需要の伸びに対応 ➤ レアル安(7月から9月にかけて3%下落)により為替差損及びリース債務の増加等により財務費用合計でR\$1,037百万計上 ➤ リース契約の交渉によりリース料の減額等の結果、3Q/20にR\$424百万純利益プラス ➤ 10/2にTAP株式売却を実施し、約R\$70百万の資金受領予定 ➤ 金融機関と交渉の結果、短期借入金R\$657百万が返済期日延期(借入の92%の返済期日が2022年以降へ) ➤ 11/12にR\$17億の転換社債を発行。当該資金は運転資金のほか、ロジスティクスビジネスの強化等戦略投資に利用予定。この資金調達等で5年以上の資金需要に耐えるポジションに(1日あたりR\$3百万の現金支出) ➤ 世界で初めて"Tapete Azul"と呼ばれるboarding processを導入
営業損益	△1,024	△248	527	△1,113	1,208	
純損益	△3,140	△1,226	△551	△10,517	△90	
営業CF	508	209	689	760	1,726	
Source: AZUL 3Q Earning release						

Gol (航空) (単位: 百万リアル)

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	358	974	3,709	4,480	10,061	<ul style="list-style-type: none"> ➤ RPK(有償旅客数×輸送距離)は前期比72%減少も、7月から9月にかけては63%増加。旅客数も3Q/19比で73%減の260万人も2Q/20比では300%となった。また、独立記念日1日で55,000人の旅客数に達しこれは、前年度の55%となった ➤ 月間売上は、7月: R\$240百万、8月R\$269百万、9月R\$465百万となった ➤ リース契約に関して、一部を固定から使用時間等(Power by the hour)に基づく変動性へ。これにより今後1年間のリース料がR\$12億削減見込み。また、9月には10機を返却しており、4Qでさらに4機の返却予定。 ➤ フライトのプロセスにおいて90%が人との接触なしに実行。(チケット購入、チェックイン、チェックインバッグ、ボーディング等。顔認証も含む)また、WhatsAppを通じた新たなサービスも開始し、人との接触を介することなく、チェックインやフライトステータスの確認が可能 ➤ 10月頭にGRUでテレプレゼンスロボットのテストを実施。人との接触を避けてヒューマンサービスの提供を目指す ➤ 4Q/20でも1日当たりの純現金支出額はR\$3百万の見込み(3Q/20と同じ水準) ➤ 格付け: S&P(9/25)及びFich(10/9)共にCCC-からCCC+へ格上げ
営業損益	△899	△760	612	△632	1,438	
親会社帰属純損益	△1,997	△1,719	△242	△6,005	△469	
営業CF (Continue)	△301	△288	1,071	500	1,738	
Source: Gol Earnings Report 3Q 2020						

Embraer（航空機製造）（単位：百万ドル）

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	758.7	1,175.6	1,929.7	3,377.6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 3Q/20では、民間旅客機7機及びプライベートジェット21機を納入（3Q/19は、民間旅客機17機、プライベートジェット機27機。2Q/20は、民間旅客機4機、プライベートジェット機13機。）。バックログは、合計151億ドル。（4Q/19末:168億ドル、2Q/20末: 154億ドル） ➤ 防衛は、前期比47.3%増（154百万ドル）。これは、COVID-19により移動が制限され、前四半期に納入が出来ずタイミングのズレで当四半期売上増となった。 ➤ 非計上項目として、 <ol style="list-style-type: none"> 1) 9月に公表した解雇プログラム（自主的、強制）に関連するリストラ費用△54百万ドル 2) COVID-19パンデミックによるクレジット予想損失引当金追加計上 △13百万ドル 3) プライベートジェット事業の減損損失引当金戻入 + 15百万ドル 4) 民間旅客機ビジネスの減損損失引当金戻入 + 58百万ドル を計上。合計+7.6百万ドル ➤ 営業CFのマイナスは純損失のほか、運転資本が増加したこと等による（棚卸資産の増加、買掛金の減少 等）。 ➤ 社債を発行し7.5億ドルを調達（満期日2028年）。当該調達額のうち、2.5億ドルは2022及び2023年に満期到来の債務の支払いに充当し、5億ドルは資金流動性を強化。なお当該資金調達により債務の平均残返済期間は3.8年から4.5年へ。
営業損益	△37.7	△20.8	△427.1	△9.3	
親会社帰属純損益	△121.2	△77.2	△728.6	△112.4	
営業CF	△788.3	200.1	△1,883	△115.7	
Source: EMBRAER EARNING RESULTS 3 RD QUARTER 2020					

CVC（旅行代理店）（単位：百万レアル）

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	3.0	62.0	427.6	462.0	1,377.3	<ul style="list-style-type: none"> ➤ COVID-19の影響を受け、ブラジル、アルゼンチンの3Q/20の予約高はR\$10.4億で3Q/19比78.4%減（ブラジルだけだとR\$8.7億、78.2%減）。 ➤ 9月だけ見ると前年同月比35%まで回復。（4月はわずか2%） ➤ ただし、営業CFは、購入済のボーディングの延期の一方で売掛金の回収が進んだことで大幅のプラス（売掛金残高は4Q/19ではR\$3,083百万が3Q/20ではR\$988百万とR\$2,095百万減少（現金化）） ➤ 3Q/20末の現金預金残高はR\$1,648百万で4Q/19末のR\$366百万からR\$1,282百万増加 ➤ 通常営業活動にもどるまでの売上及び現金の減少を補う資金確保のための新たな資金調達を検討する一方で現在の社債権者と金銭以外の義務免除及び2021年満期の延期交渉 ➤ 資本増強のためR\$301百万の増資（8/16実施）等により資本金は4Q/19末のR\$663百万からR\$957百万へ増額。さらなる資本増強策として新株予約権保有者による権利行使を考慮しており、12/1/2020から1/29/2021の期間で実行される予定であり満額実行されればR\$401百万の増資。 ➤ 4Q/19では、合計でR\$362百万（税引前利益に対しマイナス影響）の修正を実施。
営業損益	△256.0	△221.3	110.9	△1,273.9	317.5	
親会社帰属純損益	△237.7	△212.2	8.9	△1,585.6	83.6	
営業CF	585.1	325.8	127.8	1,242.0	247.2	
Source: CVC 3Q20 Press Release						

Eztec（不動産開発）（単位：百万レアル）

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	271	187	674	495	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2021年までにR\$40億からR\$45億分の住宅開発を行うガイダンスを公表 ➤ ローン条件が各銀行から緩和化されている流れが中流階級の購買意欲を増進させており（特にItau・Bradesco銀行の新たな融資オプション（Loan to value（借入金÷総資産）が90%でも融資する仕組みが後押ししている）、そのなかで大型開発案件の「EZ Parque da Cidade」「Air Brooklin」「Z.Ibirapuera」の販売が好調（建設段階に関わらず既に戸数の2/3を販売済）で売上は増加 ➤ 建設資材の凡そ20%がドル高の影響を受けるが、スチールなどは現在よりも40%安価だった2月時点で今年分の需要を買い上げている等の対策を取っていた事によりコスト上昇を抑えている。またブラジルが高失業率により労働力過多となっているため現場作業員の賃金上昇を抑えられている ➤ 3Qから今後の開発に向けて土地購入を進めており、今期にR\$75百万のキャッシュアウトが生じたことが営業CFに影響 ➤ 子会社「Ez Inc.」の上場を予定していたが、11月10日に60日間の中断を要請
営業損益	93	47	192	132	
親会社帰属純損益	119	61	265	172	
営業CF (Continue)	0.6	58	73	123	
Source: Eztec ITR_3Q20					

Tenda（不動産開発）（単位：百万レアル）

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	654	508	1,596	1,407	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新規住宅のローンチの増加（前年同期比21.2%、5219戸⇒6325戸）及び販売戸数の増加（前年同期比40%、4185戸⇒5860戸）、また契約解消がピーク時の2Q/20から減少（817戸⇒681戸）した影響により、売上高は3Q/19比28.7%増 ➤ 販管費はオンライン販売の増加により3Q/19比19%増（R\$46.8百万⇒R\$55.6百万）に抑えられたことも営業利益に寄与 ➤ 建設資材の高騰により建設コストは上がっているものの、顧客層が主に低所得者であるため住宅価格を上げない方針を取っており、そのためバックログ・マージンは37.1%から36.3%に低下 ➤ 長期的成長及び競争力向上のためOff-site建設（工場で加工・組み立てたパーツを現場に持っていき住宅を組み立てていく手法）を検証しており、今期は費用としてR\$5.7百万を管理費に計上
営業損益	88	71	173	208	
親会社帰属純損益	70	64	128	187	
営業CF (Continue)	94	△22	142	68	

Source: Tenda 3Q20 Earnings Release

Iguatemi (ショッピングモール) (単位: 百万リアル)

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	159.0	179.8	182.4	493.7	543.0	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 営業時間が延長されていくにつれ、ショッピングモールにおける売上高も上昇。9月には営業時間がキャパシティの69%に達し、テナント月間売上高も前年同月比77%まで回復。(5月の売上高R\$1.5億→9月はR\$7.7億へ) ➤ テナントへの賃料についてもモールの利益やオペレーションのエリア等に応じてケースバイケースで対応を継続(9月は前年同月比の87.3%の賃料の請求を実施。滞留率は変わらず13%程度) また、コンドミニアムフィーやマーケティングファンドについても10%から40%の減額を維持。(コスト削減の結果) ➤ ただし、家賃の減額等の影響で入金が長期間に及ぶことになり(平均4年) 営業CFはマイナス。 ➤ 9月末には従業員の87%がオフィス勤務を再開。(オフィスのレイアウト変更、COVID-19無料テスト、Saude Iguatemiのプログラム、コンサルティングファームによるマネジャー等のトレーニング等を実施) ➤ Iguatemi 365の拡張、強化するなど、オムニチャンネル戦略(オンライン、オフライン)を推進。また、#IguatemiComVoceを#IguatemiDairyに名前を変え、Iguatemiのインスタグラムで恒久化 ➤ 10月にR\$5億の社債を発行(R\$1億: 利率CDI+2.15% 5年。R\$4億: 利率CDI+2.45% 7年(2026年から始まる2回の弁済))。当該資金は2021年度の債務弁済及び運転資本の増強を目的。
営業損益	76.2	96.1	136.6	236.4	341.0	
親会社帰属純損益	46.8	61.7	86.0	120.3	199.5	
営業CF	△18.5	△9.1	80.1	56.0	256.0	

Source: Iguatemi ITR 3Q20, 2Q20

Multipan (ショッピングモール) (単位: 百万リアル)

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	254.0	210.7	323.0	785.5	944.7	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 部分的な営業再開のモールもあるものの19のすべてのモールで営業再開。9月には、営業時間が前年同月比で73.9%まで回復し、テナント月間売上74.6%まで回復(賃料収入も74.4%まで回復)。10月は営業時間が更に伸びテナント月間売上は80.8%まで回復。 ➤ Parque Shopping Maceioについては前年同月比101.1%を達成し、VillageMallでは、高級品の売上が前年同月比で9.5%増。 ➤ 賃料債権の延滞率も2Q/20では、16.3%であったものが3Q/20では、7.2%へ減少。 ➤ テナント賃料はcase-by-caseで分析し、共益費、マーケティングファンドの収入も3Q/19比では大幅減少。 ➤ Diamond Towerを売却(売却額R\$ 8.1億。開発費R\$2.7億) ➤ 資金調達として上記の物件売却の他、7月にR\$4億の社債を発行。(R\$2億ずつ。利率はCDI+3%で5年及び6年の満期) ➤ Delivery Centerへの投資を増やしており、以下の2つの新たなパートナーシップを締結 <ul style="list-style-type: none"> 1) テナント業者がB2Wのmarketplaceへの出店を可能に。 2) モール内のレストラン/フードコートメニューがgoogleの検索ツール/マップからオーダーを可能 ➤ WhatsApp内にマーケットプレイスを導入するサンプル版を導入。これによりWhatsAppを通じて利便性の高い買い物の実現を可能
営業損益	121.9	643.1	176.5	1,049.7	511.8	
親会社帰属純損益	70.7	568.7	121.0	817.2	326.9	
営業CF	23.2	85.9	236.6	337.1	647.2	

Source: Multipan Quarterly Information 3Q20, 2Q20

Ambev (飲料製造) (単位: 百万レアル)

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	11,615	15,604	11,957	39,822	36,742	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 3Q/20は売上はV-shape回復となり、3/19比で販売数量が12%増（ブラジルに限ると19.8%増でCOVID-19パンデミック前水準に戻る）等により売上は15%増 ➢ 製造原価については、アルゼンチンのインフレーション、通貨の変動がマイナス影響、パッケージミックスがunfavorableな方向（アルミ缶アップ）となり、売上総利益率は、56.3%から52.4%へ減少。 ➢ ブラジルは、政府の補助金がプラスの影響となり、オントレードビジネスがマイナス影響を上回っている。また、オフトレードの比率が2Q/20では、70%程度であったのが、3Q/20では、60%まで下落（レストランでの消費率の上昇） ➢ ブラジルにおいて barをサポートすべく、“Voltadeira”キャンペーンの実施(Itiアプリの利用において、300,000ボトルのビールを寄付)、Get-in (スタートアップ) と共同でアプリ開発（リモート予約、ウエイティングリスト、デジタルメニュー、デジタル払いを可能に）、さらにLemon Energia (スタートアップ企業) と組み、2023年までに5,000以上の小規模企業へより安価なエネルギーの供給をサポート。 ➢ アマゾンの森林保護の意識向上のためアマゾン地域で製造され、森林破壊のレベルに応じて価格が変動する“Colorado Amazônica”を販売。当該収入の一部をアマゾンコミュニティーへ。 ➢ Duplo Molteは引続き好調で、また、消費者の嗜好を調査し、新たなブランド、製品を試験中。
営業損益	1,918	3,586	3,140	8,539	10,744	
親会社帰属純損益	1,227	2,275	2,498	4,593	7,680	
営業CF	1,838	7,079	3,552	10,462	8,746	

Source: Ambev Third Quarter 2020 Results

Magazine Luiza (家電量販店) (単位: 百万レアル)

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	5,568	8,308	4,864	19,111	13,501	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 3Q/20の販売取引金額（店舗、e-commerce）は81.2%増の124億レアルに。（e-commerceが148.5%増、店舗が18.3%増） ➢ ブラジル正式e-commerceの成長率が43.5%であり、それを大きく上回る成長。これは、月間30百万人のアクティブユーザーのApp、新たなカテゴリーの成長等による。 ➢ 実店舗は3Q/20でまだcloseしていた店舗があるに関わらず、3Q/19既存店比7%up ➢ Marketplaceには40,000の出店者があり、3Q/20でR\$20億の販売額を達成。また、この出店者のうち30%がLogbeeを利用して配送。なお、Logbeeにより配送費用も下がり配送時間も短縮 ➢ さらにブラジル小売業界のデジタル化するエコシステムを推進すべく8週間で8社の買収を発表（8月から10月） ➢ 従業員43,000人のうち50%以上がアフリカ系。一方で幹部クラスは16%にとどまっており、アフリカ系の幹部クラスを増やすべく、9月にアフリカ系若者専用の研修プログラムを発表 ➢ この四半期にブラジルGHGプロトコルプログラムに参加 ➢ 3Q/19には、PIS/COFINSの課税標準からICMSを除く事に関する訴訟に勝訴し利益計上。その影響を除くと営業利益はR\$134百、純利益はR\$127百万となり、3Q/20の営業利益は54%up
営業損益	△123	274	298	215	1,029	
純損益	△65	206	235	172	754	
営業CF	2,218	884	206	953	△244	

Source: Magazine Luiza 3Q Earning Release

Pão de Açúcar (スーパーマーケット) (単位：百万リアル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	21,289	13,524	61,737	39,314	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 2019年11月に買収したGroup Exitoの3Q/20総売上高はR\$60億であり、このために前期比売上は大幅増加 ➢ 3Q/20では、Assai5店舗を含め新規7店舗をオープンし、33店舗をclose (Extra Hiper 1店舗、Extra Supermercado 4店舗、Dragstore 18店舗、Group Exito 10店舗)。3Q/20末では、1,684店舗となっている。(うちブラジル1,054店舗) ➢ Assaiは過去24ヶ月の間に新規オープンした42店舗が大幅に寄与し、総売上高ベースでR\$25億増加。(既存店ベースだと18.1%増加) ➢ Mutivarejoも既存店ベースで10.4%の増加を示しており、特にオンライン販売が3Q/19比で240%up。総売上高ベースでMuitovarejoの6%、Pão de Açúcarの12.4%を占めるまでになった ➢ MultivarejoのFood e-commerceには力を入れており、3Q/19:3Q/20で1) Express delivery対応店舗数が113→295、2) James Delivery対応店舗数が31→347 (取扱量も577%増)。また、オンラインワインが3Q/19比で5倍以上に ➢ 11月に公表する予定のGPAのMarketplaceを開発 (既に様々なカテゴリーに属するブランドリーダーと契約済み)。市場規模をR\$10億と見込む ➢ 9/9開催の取締役会にてCash&Carry (Assai)形態の事業分離を検討することを承認
営業損益	973	455	2,190	1,333	
親会社帰属純損益	386	153	581	697	
営業CF	190	230	△1,250	△3,718	
Source: GPA Interim Financial Information 3Q20, 2Q20					

Carrefour (スーパーマーケット) (単位：百万リアル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	17,441	13,776	47,767	40,505	<ul style="list-style-type: none"> ➢ マーケットシェアは拡大し、売上は大幅増加。既存店ベース(LFL)の総売上が26%増となり、過去最高を記録 ➢ 3Q/20でCash & Carry 2店舗、1wholesales, 2Expressの合計 5店舗をオープンする一方で1 market store, 5 expressを閉め、3Q/20末では、699店舗 ➢ Last mile deliveryを含むe-commerceの流通取引総額(GMV)は3Q/19比86%増。なお、10/1にfood, non-foodのe-commerceのニーズを満たす新たにプラットフォームを立ち上げ ➢ 11/3にCarrefourの新たなロイヤリティプログラム ("Meu Carrefour" app)を開始 (会員数20百万以上)。Carrefourグループすべてにアクセスでき、仮想通貨をため、割引等に利用可能。また、最大100%の割引で自社製品の提案、CyberCookと接続し、レシピプラットフォームとつなぎ料理の提案などが可能。また年末までには、Scan & Goと統合し、顧客がアプリを通じて支払が可能、といった機能を強化し、Appが顧客中心 (customer-centric)を反映 ➢ Markoの30店舗取得に対し、9月にCADEより承認 ➢ 営業CFがマイナスなのは運転資本の増減による
営業損益	1,011	864	2,995	1,662	
親会社帰属純損益	687	430	1,736	377	
営業CF	△1,044	△323	△3,371	△2,989	
Source:Carrefour Q3 20 Earning Release					

Renner (衣料品小売) (単位：百万リアル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	1,790	2,225	4,462	6,409	<ul style="list-style-type: none"> オンライン販売は前年同期比200% (売上全体の16%) と大幅に増加したものの、COVID-19パンデミックの影響で店舗を閉鎖したこと、営業時間を短縮し来店客が減少したこと等で実店舗の売上は減少 (既存店売上高は3Q/19比で17.2%減) し全体では19.6%減
営業損益	△126	290	326	912	<ul style="list-style-type: none"> 但し北部及び北東部の一部地域では9月以降、来客数が前年同月と同水準まで戻る 在庫調整及び春・夏用商品の投入のため、商品値引きを7月、8月に実施した影響で総利益率は6.6%減 (3Q19 : 54.3%⇒3Q20 : 47.7%)
純損益	△82	186	742	573	<ul style="list-style-type: none"> 管理費はコスト削減策を実施し、3Q/19比10.4%減を実現したものの、販売費は店舗再開の影響で3Q/19比とほぼ同水準 (R\$481百万⇒R\$478百万) となり営業利益確保できず。
営業CF	308	548	△20	1,051	<ul style="list-style-type: none"> デジタルトランスフォーメーション及びオムニチャンネル推進のために数々の施策を実施している (オンライン販売、セルフチェックアウト、WhatsAppを通じた販売、店舗からの商品発送、e-コマース限定の商品の提供、衣類の自動販売機をサンパウロの地下鉄駅内に試験的に設置、新たな物流センターを建設) 3Q/20の営業CFは、純損失を計上するも営業再開等の影響で運転資本が減少し、結果プラスの営業CFへ。

Source: Renner ITR 3Q20, 2Q20, Press Release 3Q20

Centauro (スポーツ用品小売) (単位：百万リアル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	569	621	1,314	1,693	<ul style="list-style-type: none"> パンデミックの影響による店舗閉鎖、再開した店舗の営業時間の短縮、さらに従来のカスタマーエクスペリエンス (商品の試着など) に制約が掛かる状況により、実店舗売上は3Q/19比30.7%減 (R\$518百万⇒R\$359百万)
営業損益	△26	61	△138	212	<ul style="list-style-type: none"> オンライン販売は3Q/20は3Q/19比大幅増のR\$209百万 (3Q/19はR\$102百万) パンデミックにより在庫が膨れ上がり、その処分のために値引きを実施していることから総利益率も低減 (前年同期比5.8ポイント、49.4%⇒43.6%)
親会社帰属純損益	△33	38	△127	145	<ul style="list-style-type: none"> 2Q/20の時点で、オムニチャンネル販売は不完全であると認識し、オムニチャンネル強化戦略を推進中。 資金確保のために大規模な資金調達を行った影響 (金融債務額3Q19 : R\$35百万⇒3Q20 : R\$604百万) で営業外損益が悪化 (3Q19 R\$13百万⇒3Q20 R\$31百万)
営業CF	40	29	183	△303	<ul style="list-style-type: none"> 顧客体験に特化した店舗 (G5店舗) を推し進めており、既存店舗の改装及び店舗閉鎖費用としてR\$9.3百万を計上 11月にCADEによりNike do Brasilの買収の承認

Source: Centauro ITR 3Q20, Earnings Release 3Q20,

Burger King (ファーストフード) (単位：百万リアル)

	2020/2Q	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	292	522	723	1,464	2,064	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 3Q/20で11店舗open, 20店舗close。Burger King 857店舗、Popeyes 43店舗。2Q/20末からは減少も、3Q/19からは合計で60店舗増加。 ➤ COVID-19により7月は約40%店舗をcloseし、前年同月比で売上は45%減となるものの、その後ショッピングモールの営業が戻るに連れ、回復。3Q/20初めは営業時間が6時間に限定され、1 siftだったのが、7月末からは2 siftsへ。その結果、前年同月比で8月は△25%、9月は△15%まで回復。10月は概ね前年同月比と同じ水準まで回復。 ➤ デリバリー、Totem、BK expressなどのデジタル販売は売上の22.7%となり、前年同期比の5.2%から大幅に伸長。(R\$43百万→R\$136百万)。また、利用可能な店舗数も254から512へ(さらに、iFood, Rappi, Uber Eatのほか、99 Food, James Deliveryでも利用可能)。また、自社のdelivery serviceのPlatformも開発(100店舗、25市町村をカバー)し、より顧客に近い存在へ(customer experience) ➤ 100%deliveryに専念するバーガーキング、PopeyesのGhost Kitchenを世界で初めて発足。これは、delivery販売の拡張、実店舗のサービス最適化等を目的に開始。 ➤ Fitchの格付けはAAを維持。
営業損益	△176	△99	27	△346	50	
純損益	△187	△105	5	△348	7	
営業CF	△78	△18	108	△269	134	

Source: Burger King ITR 3Q20, 2Q20

Raia Drogasil (薬局) (単位：百万リアル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	5,093	4,602	14,513	12,780	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 特に低所得者地域の店舗の売上は増加(前年同期比26%増)の一方で、高所得者地域(前年同期比3.9%増)は、新型コロナウイルスに対する感染予防で人々が外出を控えており、また営業時間に制限があるショッピングセンター内に店舗が多く、売上微増 ➤ 商品群(OTC医薬品、ジェネリック医薬品、先発医薬品、化粧品)全般で販売増となったが、特にOTC医薬品が販売増(17.3%)。これは処方不要でパンデミック下で病院へ行くのを回避したい顧客向けに増加 ➤ 販売費はパンデミック対策による支出はあったものの(防具、店舗の清掃回数の増加、配達増による費用増など)、店舗の賃料の引き下げ及び政府支援策の適用により前年同期比と同水準(R\$851百万→R\$963百万) ➤ 管理費は変動型報酬に対する引当金の減少があったものの、オンライン販売の構築、労働訴訟に関する引当金、リモートワークへの対応に関する費用により前年同期比より増加(R\$110百万→134百万) ➤ オンライン販売の拡大は継続しており、昨年同期比で大幅に増加(売上比3Q19:2.5%⇒3Q20:7.1%)。特に物流センターではなく店舗から発送するサービス形態(例:近隣住民へ無料で店員が徒歩で配達を行うサービス、バイク配達、アプリで購入した商品を店舗で受取る)の使用が多い(オンライン販売全体の74%)
営業損益	279	492	643	884	
親会社帰属純損益	155	459	323	686	
営業CF (Continue)	647	25	658	474	

Source: Raia Drogasil Quarterly Information 3Q20, 2Q20

Locaweb (サイトホスティング) (単位: 百万リアル)

	2020/3Q	2019/3Q	2020 9M	2019 9M	2020/3Q決算ハイライト等一言コメント
売上高	126.2	101.9	348.1	280.5	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Web-siteやe-Commerceの運営、クラウドサービス、e-mailマーケティングを手掛けるインターネット企業(Be Online, SaaS & Solutions, Commerceの3つセグメント) ➤ 2020年2月に上場し、資本金がR\$583百万増加しR\$636百万。一方で現金預金も4Q/19末比R\$487.6百万増加し、3Q/20末ではR\$512.9百万に ➤ commerceセグメントの売上は既存客の流通取引総額(GMV)の増加、新規顧客の獲得等により、R\$40.3百万(3Q/19比 90.3%増)となった。なお、GMVの成長率は3Q/20は90.4%となり、3Q/19の43.5%を大きく上回り、また、市場より108%高い成長率となった。 ➤ Be Online/Saasは、3Q/19比6.4%増のR\$85.9百万 ➤ Inclusion&Diversityを推し進めており、社内のリーダーシップのポジションにある女性の存在感を高め、また、黒人やLGBTQIA+の従業員数を増加。 ➤ LocawebbersのメンタルヘルスのためにYellow Septemberへの特別プログラムを実施。 ➤ Small & Medium Entity (SME)をサポートすべく #JuntosNoDigitalを発表。また、若い世代向けに教育サポートや店舗主のマーケット参入できるようなサポートなども実施。 ➤ 3Q/20の終わりから4Q/20頭にかけて3社のM&Aを実施(Etus, Social Miner, Vindi (Vindiはbindingオファーが承認))
営業損益	17.2	17.0	32.9	38.6	
純損益	7.8	6	10.8	11.1	
営業CF	40.2	25.7	56.6	62.7	
Source: Earnings Release 3Q20					

ご清聴ありがとうございました。